

問題

相加・相乗平均の関係の応用

22 $a > 0, b > 0, c > 0, d > 0$ のとき $(a+b)\left(\frac{1}{c} + \frac{1}{d}\right) \geq 4\sqrt{\frac{ab}{cd}}$ が成り立つことを示せ。
(津田塾大)

23 すべての $a > 0$ に対して、 $a + \frac{4}{a} \geq b$ をみたす最大の b は である。
(慶應義塾大)

24 x が正の数のとき、 $x + \frac{16}{x}$ の最小値は であり、 $x + \frac{16}{x+2}$ の最小値は である。
(九州産業大)

25 x が正の数のとき、 $\frac{x}{x^2+16}$ の最大値は であり、このとき、 x の値は である。
(九州産業大)

チェック・チェック

相加・相乗平均の関係の応用

22 $a > 0, b > 0, c > 0, d > 0$ のとき、2つの不等式

$$a + b \geq 2\sqrt{ab}, \quad \frac{1}{c} + \frac{1}{d} \geq 2\sqrt{\frac{1}{c} \cdot \frac{1}{d}}$$

が成り立ち、これらを利用します。

23 k は正の定数で、 $x > 0$ のとき、相加・相乗平均の関係より

$$x + \frac{k}{x} \geq 2\sqrt{x \cdot \frac{k}{x}} = 2\sqrt{k} \quad (\text{一定})$$

なので、等号が成立することが確認できたら、 $2\sqrt{k}$ が最小値といえます。**等号成立の確認**を忘れないでください。

24 $x + \frac{16}{x+2}$ は $x + 2 = t$ とおくと $t > 2$ で
 $(t-2) + \frac{16}{t} = t + \frac{16}{t} - 2$

と変形できます。

25 $\frac{x}{x^2+16}$ の分子・分母をそれぞれ x でわると $\frac{1}{x + \frac{16}{x}}$ と変形できます。

解答・解説

相加・相乗平均の関係の応用

22 $a > 0, b > 0, c > 0, d > 0$ であるから、相加・相乗平均の関係より

$$a + b \geq 2\sqrt{ab} \quad \dots\dots ①, \quad \frac{1}{c} + \frac{1}{d} \geq 2\sqrt{\frac{1}{cd}} \quad \dots\dots ②$$

①, ②の辺々をかけると $(a + b) \left(\frac{1}{c} + \frac{1}{d} \right) \geq 2\sqrt{ab} \cdot 2\sqrt{\frac{1}{cd}} = 4\sqrt{\frac{ab}{cd}}$

等号が成り立つのは、 $a = b$ かつ $c = d$ のときである。 (証終)

23 $a > 0, \frac{4}{a} > 0$ より $a + \frac{4}{a} \geq 2\sqrt{a \cdot \frac{4}{a}} = 4$ (等号成立は $a = 2$ のとき)

よって、 $a + \frac{4}{a} \geq b$ をみたす最大の b は 4

24 $x > 0, \frac{16}{x} > 0$ より $x + \frac{16}{x} \geq 2\sqrt{x \cdot \frac{16}{x}} = 8$

等号成立は $x = \frac{16}{x}$ より $x = 4$ のときで、最小値は 8

また、 $x + 2 = t$ とおくと $t > 2 (> 0)$ より

$$x + \frac{16}{x+2} = t - 2 + \frac{16}{t} = \left(t + \frac{16}{t} \right) - 2 \geq 8 - 2 = 6$$

等号成立は $t = 4$ より $x = 2$ のときで、最小値は 6

25 $x > 0$ より $\frac{x}{x^2 + 16} = \frac{1}{x + \frac{16}{x}}$ であり、(分母) $= x + \frac{16}{x}$ は、

前の問題 **24** より、 $x = 4$ のとき最小値 8 をとる。

よって、 $\frac{x}{x^2 + 16}$ は $x = 4$ のとき、最大値 $\frac{1}{8}$ をとる。